

放射線治療科外来実習のポイント ver1.2 (22/9/23 追記)

- ・ 外来実習では放射線治療のご依頼を受けた患者さんの問診をとります。
- ・ 放射線治療の適応はあるのか、あるとすればどのような治療（根治照射・緩和照射・術前照射・術後照射）を行うのかを念頭において問診をとって下さい。
- ・ 対象の患者さんは、電子カルテの「予約一覧」→「グループ：放射線科共通」「予約枠：初診枠・放治：放射およびカルテ診放・治：放射」で選択される、実習日の予約患者さんです。おおむね午前1人、午後1人を担当いただきます。（実習前日に増えていることもあるので、**前日に再確認**しておいて下さい）
- ・ 患者さん記載の問診票を渡されてから 5 分以内に問診を開始し、問診時間はおおむね 5-10 分としてください。要点を押さえて、簡潔明瞭に。

予習が重要

- ・ これら問診のために、前日までにしっかりと予習をしておいて下さい。予習内容は、別紙「放射線治療科カルテ記載のポイント」に準じて下さい。
- ・ **関連する画像（CT, MRI, PET など）はすべて確認**下さい。画像について分からないことがあれば、遠慮なく放射線科・画像診断医に質問して下さい。
- ・ 専門用語で分からないことは、取扱い規約/診療ガイドライン（放射線治療計画室に全がん種を常備）や教科書などで調べておいて下さい。
- ・ その他、担当する患者さんの疾患に関する、標準治療（手術・薬物療法ふくめて）、検査（腫瘍マーカー、病理など）についても、事前学習しておいて下さい（医学生は国試レベルくらいまで）。
- ・ **小線源治療の室内見学も可能**です（治療のない週もあり）。希望者は運転免許証、個人番号カード等の公的機関が発行した顔写真付きの書類を持参下さい（「小線源治療室入室に関わる手続き」を参照）。

放射線治療科カルテ記載のポイント

- ・ プログレスノート（学生は学生カルテ）に診察当日の日付で記載
- ・ TNM 分類は画像・病理などを確認の上、必ず自分で行う
- ・ 不明な用語、治療法は取扱い規約、診療ガイドラインなどで調べておく

#欄

- 1 行目：年齢 性別 PS 例：68 歳 女性 PS=1
- 2 行目：病名（亜部位）TNM 分類（UICC、食道/膵臓/大腸は取扱い規約併記）
例 1：右乳癌（C 領域） cT1cN0M0/pT1bN1M0
例 2：中咽頭癌（舌根） cT2N1M0/pT2N2cM0/rT0N0M1(OSS, HEP)
例 3：食道癌（MtLt） cT3N1M1（UICC） / cT3N4M0（取扱い規約）
例 4：前立腺癌 cT2N0M0
- 3 行目：病理分類 分かれば分化度も 前立腺癌の場合は GS iPSA も
例 1：SqCC 高分化度
例 2：Ad GS 3+4 iPSA 21.1
- 4 行目：他院から直接紹介の場合、病院/紹介医師名（例：香里病院 xx 医師より）
and/or 臨床試験症例の場合、臨床試験名（例：JCOG1208 登録症例）
- 【既往歴】年齢 病名（治療法）
55 歳 高血圧（内服）
60 歳 両白内障（手術）
- 【照射歴】ある場合は詳しく（施設・時期・部位・線量）。なければ「なし」。
- 【嗜好歴】喫煙・飲酒について 平均 1 日量（xx 歳—xx 歳まで）
例：喫煙 20 本/日（20 歳-40 歳まで）、酒 1 合/日（20 歳より現在まで）
- 【家族歴】血縁者のがん既往（特に家族性・遺伝性がん）
- 【現病歴】発見の契機、診断時期、治療開始日、手術日など時系列・箇条書き
- 2016
- 07/28 6 月下旬からの嚥下痛にて近医受診、UGF にて食道腫瘤指摘
- 08/03 当院消化器内科紹介受診、生検にて SqCC
- 08/20 術前化学療法（DCF*2、10/20 まで）
- 10/20 胸腔鏡下切除術, pT2N1M0、断端陽性
pN1: #106 1/3, #101 0/2
- 10/30 術後照射依頼

(S) 欄 自覚症状 特に現在の症状を記載 (部位・頻度・程度)

例 1:ときどき右の臀部の痛みあり。夜は痛くて眠れない。

例 2:空腹時のみ胃の不快感あり。1か月までからどんどん増している。

例 3:症状なし。夜間尿 1-2 回。排便毎日あり。(前立腺の場合)

(O) 欄 他覚症状 必ずキー画像を添付 (CT/MRI/PET 画像 and/or 術創)

その他、腫瘍マーカー、腎機能、炎症マーカー (KL-6)、内診所見など

*****学生・初期研修医のカルテ記載はここまで

(A) 欄 治療部位・治療方針 (根治・緩和・術前・術後のいずれか) を明示

例 1: 右乳癌 (断端陽性) に対する術後照射の適応あり

例 2: L3 骨転移 (オリゴ) に対する緩和照射 (骨折予防) の適応あり

例 3: 縦隔リンパ節転移 (単発) に対する根治照射の適応あり

例 4: 舌根癌に対する根治照射の適応あり

腎機能低下あり CDDP 併用不可、放射線治療単独の方針となる

*術後でも、肉眼病変残存している場合は、術後照射ではなく根治照射

(P) 欄 SCT 日、治療開始日、総線量 (併用薬)、回数、治療計画を明示

IMRT の場合は CTV 範囲、外来治療の場合は治療時間も記載

例 1 :

本日 SCT

11/12 CRT (CDDP) 70 Gy/35 fr 開始 (入院)

01a 0-40 Gy/20 fr

01b, c 40-60 Gy/10 fr (原発巣および左レベル II リンパ節)

01d, e 60-70 Gy/5 fr (同上)

例 2 :

10/10 14:00 SCT

10/17 IMRT 70 Gy/50 Gy/25 fr 開始 (14:15 枠)

CTV70 : GTV+0.5-1 cm

CTV50 : CTV70+0.5 cm、右 Level II-IV, VIIa